



美味しいマグロが 食べられる未来のために。

私たちFTIJAPANは、
MAGURONESIAの販売を通して、SDGsに取り組みます。



はじめに

創業より当社は、インドネシア僻地で生鮮マグロの品質向上への取り組みを続け、その品質レベルは業界内で認知されるものとなってまいりました。

また、今日までの輸入量は500トンを超え、量の点においても、それなりのものとなってきました。

しかし、私たちが創業した2010年以降、より短いスパンで世界は大きく変貌を遂げつつあり、私たちの生活にも影響が出始めています。

環境破壊や気候変動、経済格差や、貧困、飢餓など、解決すべき多くの問題に直面している私たち地球人。

私たちもこれらの問題に向き合い、

“食べる事こと(消費すること)だけにフォーカスしたビジネス”から、サステナブルで循環型の事業に力点を置くことに決めました。



これからの取り組み

これまでも私たちは、インドネシア僻地の漁民に技術を指導し、日本向けの輸出を促進することで、彼らの生活と収入を支え、

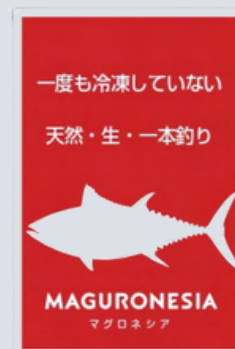
また、産業基盤の脆弱な僻地においても十分な生活が営めるようにと、事業を通してSDGsを形づくる取り組みを行ってきました。

今後はこれらの既存の取り組みに加え、あらたに、スーパーマーケットなどで販売されている、

「MAGURONESIA（マグロネシア）」シールがついているパックをご購入いただいた際には1円を、弊社WEB SHOPでのご購入については1%を、インドネシアの環境保全活動に寄付します。

寄付の内容については、半年に一回、当社ホームページで更新していく予定です。

■ マグロネシアのシール



—最後に—

わたしたちの食卓にマグロが届くまで、輸送には石油を、包装容器にはプラスチックトレーを、そして陳列には電気など、多くのエネルギーや天然資源が使われており、結果としてCO2を排出しています。

食べること、消費することは、CO2排出と切り離しては考えられないことですし、私たち営利企業や消費者の皆様が負担すべき、環境負荷コストと考えています。

美味しいマグロが食べられる未来のために、私たちは取り組みを続けます。